

令和元年5月30日

プレスリリース

報道各位

通常総会決議事項について

令和元年5月30日開催の第23回通常総会において下記のとおり決議されましたのでお知らせいたします。

記

第1号議案 第90期事業年度 $\left\{ \begin{array}{l} \text{自平成30年4月1日} \\ \text{至平成31年3月31日} \end{array} \right\}$ 業務報告書、

貸借対照表、損益計算書及び損失金処理案承認の件

原案どおり承認可決された

第2号議案 令和元年度会員加入金の額決定の件

原案どおり承認可決された(1口あたり59万円)

第3号議案 役員選任の件

原案どおり承認可決された(別添)

以上

第90期事業年度

業 務 報 告 書

〔 自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日 〕

目 次

業 務 報 告

1. 業務の概要	1
2. 市況概況	2
3. 会議概要	
1) 総 会	8
2) 理事会等	8
4. 登記事項	8
5. 会員に関する事項	9

決 算 報 告 書

1. 貸借対照表	10
2. 損益計算書	11
3. 損失処理	13

参 考 資 料 (統 計)

1. 商品別出来高表	14
2. 今期の概要	15
3. 会員別・売買高及び受渡高表	17

会 員 名 簿	18
---------	----

第 90 期 業 務 報 告

自 平成30年4月 1 日

至 平成31年3月31日

第90期における業務の概要及び決算について、次のとおり報告いたします。

業 務 報 告

1. 業務の概要

当期の我が国経済は、名目 GDP が過去最大を記録するなかで、雇用所得環境の着実な改善がみられ、また堅調な消費や投資を背景に、地方や中小企業においても好循環が波及することとなりました。

このような経済情勢のもとで、日本取引所グループと東京商品取引所が総合取引所の実現に向けた統合の検討に入りましたが、国内商品市場の活性化への道筋につきましては、引き続き、混沌としている状況にあります。

本所におきましては、下半期において、取引システムを板寄せ方式からザラバ方式に移行するとともに、主力商品である米穀の産地当業者のニーズに応えるため、「秋田こまち」の取引を開始する等、市場活性化に向けた諸策に取り組みましたが、上半期の不振も影響し、当期の取引高は 233,725 枚（前期比 74.4%）となり、本年度決算では 43,080,488 円の損失金（前期比 23.4%）を計上する結果となりました。

本所が当期において実施した事項は次のとおりです。

(1) コメ先物市場のプレゼンス向上

米穀の減反政策が転換する初年度を迎え、生産者を始めとする米穀関係者にコメ先物市場の具体的な活用に関する提案を目的とする各種セミナー、勉強会を随時開催するとともに、受託会員の営業支援として、米穀現物流通に関する勉強会や WEBSITE 及びメールマガジンサービスを通じた価格情報を中心とする情報提供を活発化させる等、米穀の本上場に向けた基礎的環境の構築に資する活動を展開いたしました。

(2) コメ先物市場における制度改善

米穀における生産者を中心とした関係者の先物市場に関するニーズを踏まえ、「新潟コシ」に続く特定産地品種銘柄としての「秋田こまち」を標準品とする取引を下半期より新たに開始するとともに、「東京コメ」における取引限月を他の標準品と揃え、偶数月六限月制に転換しました。

(3) ザラバ取引システムの導入

受託会員のコスト負担を最大限考慮するなかで、国内外の金融市場におけるプレーヤーを含めた新たな市場参加者が参入する環境を整備するため、下半期よりザラバ取引システムの運用を開始し、併せて、市場流動性の向上を図るため、板寄せ取引では困難とされていたマーケットメイカー制度を稼働させました。

(4) デリバティブの普及啓蒙

商品先物取引の理解浸透に向けた教育活動と致しまして、引き続き、商品先物取引に関する大学寄附講座及び社会人に向けた特別講座を開設いたしました。

2. 市況概況

〔東京 コメ〕

4月、年度末の軟調地合を引継ぎ期近4月限が14,380円、期先9月限は、平成30年産の市中相場に下げムードが広がったことから14,210円のストップ安を示現して始まった。主力産地である東北産や北陸産は流通業者間の取引価格が前月に比べ1～3%安と卸値の下落を懸念した売りに20日、4月限が13,790円（前月比600円安）で納会した。その後も、総じてジリジリと値を下げ安値追いの展開となった。

5月、公益社団法人米穀安定供給確保支援機構（以下「米穀機構」という。）が公表した各種DIが先行きの弱含みを示したことから7月限13,990円、8月限14,200円とストップ安を示現した。その後、新穀10月限が売り優勢に大きく下げたことに、他限月も連れ安となり全限月が14,000円台割れとなった。なお、5月限は13,680円で納会落ちとなった。

6月、新穀限月に対するサヤ修正から反発を見せたものの、需給緩和見通しや平成30年産米の豊作見込みが嫌気され、下落基調に歯止めが掛からず、20日、6月限は13,250円（前月比430円安）で納会した翌日、新甫12月限は11月限と同ザヤの13,400円で発会、下旬にかけては、材料難による様子見姿勢から、横這い商状となった。

7月中旬になり、台風7号と前線による大雨で納期遅延などが確認されたが、猛暑による需要減退懸念から下押し圧力を払拭できず、18、19日には10月限（前日比260円安）、11月限（前々日比300円安）、12月限（前々日比200円安）と続落し、期先3限月が13,100円の同値となった。

8月に入り、平成30年産早期米の現物価格下落を映し当限が急落するも関東早場米の品質懸念から業務用米不足へ警戒感が強まり、これまで売られ過ぎ感から買い戻しが入り、揃って13,100円まで回復。20日、8月限の納会を迎え、納会値段13,090円（前月比210円安）で平穏納会。あとは模様眺めに終始した。

9月に入っても、手掛かり材料難から見送られ下旬まで基調は変わらなかった。20日、9月限は13,400円で平穏納会となった。

10月、現物スポット市場では、新潟県と北海道が、天候不順による作柄の悪化から豊作見通しの後退懸念が影響し9日当限が買い優勢で13,600円（前日比200円高）、12日にかけて当限を除く他限月も揃って240円～440円高の堅調な動きを見せた。15日からザラバ取引に移行したあとは高安マチマチな値動きながら19日、10月限が納会値段13,490円（前月比90円高）で平穏納会した。その後、下旬にかけては全般的に上値が重く積極的な商いが続かず見送られた。

11月、米穀機構が発表の米価水準DIが現状判断70（前月比プラス3ポイント）、見通し判断58（前月比プラス5ポイント）と引き続き高水準で推移し、先高感がやや強まっていることから、期先3限月を中心に活発な値動きを見せ、ジリ高基調に全限月が13,500円台を回復した。

12月、10日、農水省が平成30年産水稻の収穫量778万トン（前年産比4万2千トン減）と下方修正を発表により、期中限月中心に売り優勢ムードが広がり軟調に推移し大納会を終えた。

1月から2月にかけては、期先は小高く始まったものの、材料難から徐々に値位置を下げ17日、4月限12,980円（前日比120円安）、6月限13,010円（前日比140円安）、8月限13,000円（前日比160円安）とそれぞれ安値を示現したが、翌日、新潟コシのストップ高を好感した強気筋の買いに（前日比250円～280円高）前日の下げ幅を大幅に上回る上げ相場となった。その後は、高値警戒感が台頭し、全般的に天井を打ったとの見方から、頭打ち感が広がり上値余地は乏しい展開となった。

3月、現物スポット市場での米価は上昇しているものの、家庭の消費が減り中食と外食がコメ消費を支えている実情から需要は弱く積極的な買いは見送られる中、7日、12月限は13,490円（前日比40円高）と月中の高値を付けたが、買い一巡後は材料難から下落基調を辿り13,200円で引けることとなった。旧穀限月については、売り買いともに手控えられ、閑散商状で年度末を終えた。

なお、期中における合意早受渡しによる受渡数量は100枚（1266.63トン）となり、期日受渡しと合わせた受渡数量は、114枚（1,434.63トン）となった。

〔新潟コシ〕

4月、新潟コシは前期末の小幅揉み合い商状を引き継ぎ、保ち合いの中当限16,510円、先限15,750円と逆鞘で始まった。月央にかけては、農業政策の転換（生産調整廃止）を受け、特に新穀限月（本稿においては、平成30年産米に係る限月をいう。以下同じ。）を中心に不透明感に覆われたことから玉次第の値動きとなり、19日から平成30年6月限及び同年8月限が3連騰を示現するなどしたが、その後は手掛かり難から小幅な値動きに終止した。なお、当限4月限は16,590円と平穩裡に納会した（受渡枚数：46枚）。

5月、米穀機構発表の主食用米の米価水準に係る見通し判断が43（前月比マイナス12ポイント）と7か月連続で下落することとなり新穀限月が軟調となる一方で、期近限月については足元の品薄を映し確りとした足取りを見せ、6月6日には平成30年6月限が一代高値となる18,100円を示現、同年8月限についても6月18日に18,000円台の大台に乗せるなど騰勢を強めた。なお、当限6月限は先の一代高値で納会した（受渡枚数：45枚）。

7月、当限は後半にかけ平成30年産の生産見込みなどを不安視する向きから値位置を切下げ月末には2日連続でストップ安を示現するが、その後保合いとなり、当限8月限は8月20日、16,900円で納会した（受渡枚数：24枚）。

一方、新穀限月は玉次第の中ジリ高となっていたところ、JA全農にいがたの2018年産米に係る概算金（14,500円。前年比700円高）の報を受け一変上値を追う展開となり、平成30年10月限は9月20日に16,000円台に乗せ、その後農林水産省が発表した9月15日現在の作況指数が98（やや不良）と、これまでの豊作報道に比べ予想外の低い値となったことを受け

より騰勢を強め、10月10日に16,500円を示現するとそのまま納会することとなった（受渡枚数：406枚。過去最高を記録）。なお、令和元年10月限は、16,660円を始値として取引が開始された。

他限月についても同様に、9月末から10月上旬にかけ16,000円台超えの水準を記録した。なお、10月15日から、市場活性化を企図して板寄せ仕法からザラバ仕法へと移行した。

11月、農水省発表の作況指数（10月15日現在で95）や米穀機構の各種判断（DI）を材料に、騰落織り交ぜつつも上値を追う展開となり、平成30年12月限は11月20日に、翌営業日には平成31年2月限が17,000円に到達、12月限はその後も上伸し17,300円で当限落ちを迎えた（受渡枚数：30枚）。なお、令和元年12月限は、16,230円での発会となった。他限月は12月に入り米穀機構発表の主食用米の米価水準（現状・見通し）判断とともに前月比マイナスとなったことを映して上げ一服となったが、やはり出回りの少なさに起因する市中相場の動向に抗することはできず、上伸基調が続く中で越年することとなった。

年明けも、特に新穀限月が上値を追う展開に変わりなく、当限平成31年2月限は1月17日に18,000円台を示現するに至り、他の新穀限月も間もなく18,000円台乗せや当該値段に肉薄するなどした。他方、令和元年10月限以降の限月については、硬軟織り交ぜつつ底堅い動きとなったが、材料に乏しい面もあり、新穀限月ほどの騰勢は見られなかった。

2月20日、上伸を続けた当限平成31年2月限は、18,700円と新潟コシ取引開始以来の高値納会となった（受渡枚数：240枚）。なお、令和2年2月限は、16,500円で発会した。

その後期末にかけても新穀限月に対する旺盛な買い意欲はとどまるところを知らず、3月12日に当限平成31年4月限が19,300円を付ける商状を呈し、翻って令和元年10月限以降の限月は16,500円を中心とする底堅いボックス圏相場を形成することとなり、当限平成31年4月限は19,450円と取引開始以来の最高値を記録し、先限令和2年2月限は16,600円となって、期を終えた。

なお、期中における合意早受渡しによる受渡数量は497枚（745.5トン）となり、期日受渡しと合わせた受渡数量は、1,288枚（1,932トン。前年度比883.5トン増）となった。

〔秋田こまち〕

「秋田こまち」は、新潟コシに続く産地品種特定（単一）銘柄市場の第2弾として華々しくデビューすることとなった。

本銘柄は、秋田県産あきたこまち1等を標準品とするとともに、東京コメに比肩する取引（受渡）単位や、産地における流通実態に鑑みフレキシブル・コンテナ（フレコン）による受渡しを可能とするなどの特長があり、他の米穀との差別化を図るとともに、生産者を始めとする当業者と投資家の双方のニーズに応え得る市場をその設計の狙いとしている。

取引開始前の9月28日、農林水産省から発表された秋田県に関する作況指数（9月15日現在）は98（やや不良）となり、市中相場の動向からも堅調な相場展開が予想される中、全限月につき14,400円を基準値段とすることを10月12日に公表、その後平成30年10月22日午

前9時、令和元年6月限、8月限及び10月限の3限月で取引が開始された。

初日の取引では、すべての限月の高値が制限高(14,700円)を示現するなど確りとした相場となり、6月限は14,700円、8月限は14,550円、そして10月限は14,660円で引けた。なお、当日の出来高合計は、238枚(2913.12トン)であった。

その後、先限は更に上値を追い一時は15,000円台に乗せたものの、徐々に高値警戒感が台頭し一旦値を戻すこととなった。あと、市中相場の強含みや農林水産省発表の作況指数(10月15日現在=96)などを材料に底堅い動きを見せ、12月中旬にかけて、14,600円から14,700円を中心とするボックス圏相場を形成することとなった。

年明け、買い一巡し高値が嫌気された市中相場の動向を映し、値位置を切り下げることとなり、その後2月下旬にかけても、手掛かり材料の乏しさから市中現物相場の動向に連れて弱含み、先限は14,400円から14,450円を中心とする取引に終止した。

3月、材料難に変わりはなく、模様眺めから積極的な売買が手控えられ玉次第の動きとなる中、先限が再び上申し3月11日に14,700円台を回復した。その後は一進一退の動きとなり、先限令和2年2月限は14,640円で期を終えた。

〔大 阪 コ メ〕

4月、期近4月限が15,230円、期先9月限が15,300円でスタートし、11日、新甫10月限(新穀限月)は保合いながらも15,310円(期間最高値)まで上申し、約5年ぶりの高値となった。中旬以降は、スポット相場が全面安の様相となり、上げ一服感から期先限月を中心にジリ安となり、小幅安で月を終えた。

5月、米穀機構発表の主食用米の需給動向(見通し判断)を示すDIが46(前月比マイナス12ポイント)と16か月ぶりに節目の50を割り込むと共に、米価水準(見通し判断)DIも43(前月比マイナス9ポイント)と7か月連続で下落したことで、需給緩和への転換が明確となり、新穀限月を中心に連日売りが先行し、続落歩調を辿った。11日、15,240円で新甫発会した11月限は23日、14,820円まで値位置を切り下げたが、その後は小幅反発し、14,940円となった。

6月、現物スポット市場が消費の鈍さを映して下落する中、好天に恵まれ30年産米が豊作見通しであることや主食用米の作付け増加見通しが伝えられると、下げ圧力から10月限を中心に続落した。その後は模様眺めムードが広がる中、積極的な商いが手控えられ横ばい商状となった。

7月、記録的大雨となった西日本豪雨被害による相場への影響は限定的となったが、6月末の民間在庫が190万トン(前年比9万トン減)、主食用米需要見通しが740万トン(前年比14万トン減)と発表されたことで需要の減少が鮮明となり、先安感から新穀限月を中心に一段安となった。

8月、前月末に値を下げた新穀限月を中心に小幅反発して始まり、9日、期中期先限月が100円~210円上げ、期先1月限も他限月と同様に14,000円台を回復した。その後は早場米

の取引が始まった現物スポット市場がお盆休みを控えて動意薄となる中、猛暑によるコメへの被害が予想より少ないとの見方から上値の重い展開となった。15日、本銘柄に変わり「秋田こまち」が米穀標準品となることが報道されると、一旦は様子見姿勢を強めたが、月末にかけて期先2月限がストップ安を付けるなど値動きの激しい展開となり、29日、13,720円(期間最安値)まで値を下げた。

9月、8月の主食用米の需給動向(見通し判断)を示すDIが37(前月比マイナス1ポイント)と4か月連続で節目の50を下回り、引き続き需給緩和判断を強めたことから、上旬は上値の重い展開となったが、中旬以降、新穀10月限が玉調整から3営業日連続でストップ高を付けて上値を試す展開となり、27日には15,250円まで反発した。

10月、30年産主食用米生産量が732.9万トンと前回公表から4.5万トン下方修正される等、産地天候不順の影響による作況の低下を背景に、新潟コシ及び東京コメが期先限月を中心に値を伸ばしたことを受けて強地合いとなり、10日、納会値段14,900円、受渡枚数は208枚(624トン)と上場来の大受渡しとなった。15日にスタートしたザラバ取引によって市場参加者が増加した他銘柄とは対照的に、本銘柄は整理商い中心の薄商いとなった。

11月に入っても積極的な商いは手控えられ横ばい商状が続いた。10日、納会値段14,550円、受渡枚数80枚(240トン)と前月に次ぐ大受渡しとなった。

12月、4年連続の米価上昇が確実となり、高値期待を背景に産地が出し惜しんでいるとの見方もある中、年明け以降の出方を睨んで動意薄の展開のまま越年した。

1月、現物スポット市場では短期的な供給逼迫懸念が台頭して新潟コシがストップ高を付ける等人気集中した反面、3月8日をもって、2011年8月8日に取引開始した大阪コメは秋田こまちと入れ替わることもあり、動意なく閑散商状の中、1月10日、納会値段14,700円、受渡枚数4枚(12トン)と最後の期日受渡しを終えた。

2月、前月より引き続き動意なく閑散商状の中、8日の納会は納会値段14,500円だった。

3月、前月より引き続き動意なく閑散商状の中、3月限は8日に14,500円で納会落ちとなり、これをもって大阪コメの取引は全て終了することとなった。

〔米 国 産 大 豆〕

期初、期近47,000円、期先48,000円で発会した後、手掛かり難から期末3月まで動意なく推移し、期近、期先ともに49,000円で期を終えた。

〔小 豆〕

期初、期近、期先ともに12,390円で発会した後、手掛かり難から期末3月まで動意なく推移し、全限月12,390円で期を終えた。

〔とうもろこし〕

期初、期近、期先ともに22,000円で発会した後、手掛かり難から期末3月まで動意なく推移し、期近、期先ともに24,000円で期を終えた。

〔粗糖〕

期初、期近、期先ともに42,110円で発会した後、手掛かり難から期末3月まで動意なく推移し、全限月42,110円で期を終えた。

〔冷凍エビ〕

期初、期近、期先ともに1,181円で発会した後、手掛かり難から値付けバイカイに終始し、10月12日、全限月1,181円で取引を終了したのを機に、当分の間休止することとなった。

〔コーン75指数〕

期初、期近、期先ともに169.6ポイントで発会した後、春から夏の天候相場期にかけ米国大豆及びとうもろこしが過去最高水準の豊作であったことを受けて国内外の原市場が軟調に推移、8月末、シカゴ原市場相場が急落し年度最安値を更新したことから、9月の最終決済値（納会）は145.7ポイントの期間最安値となった。その後は、手掛かり難から動意なく推移し、10月12日、全限月169.6ポイントで取引を終了したのを機に、当分の間休止することとなった。

3. 会議概要

(1) 総会

各議案について原案どおり承認可決された。

第22回通常総会（平成30年5月30日）

1. 第89期事業年度（平成29年4月1日～平成30年3月31日）業務報告書、貸借対照表、損益計算書及び損失金処理案承認の件
2. 平成30年度会員加入金決定の件
3. 任期満了に伴う役員改選の件
4. 退任役員に対する慰労金贈呈の件

第50回臨時総会（平成30年9月19日）

1. 秋田こまちに係る本年度予納定率会費の額決定の件

第51回臨時総会（平成31年3月28日）

1. 平成31年度事業計画及び収支予算制定の件
2. 平成31年度会費の賦課及び徴収方法制定の件

(2) 理事会等

今期中の理事会、監事会及び常設委員会等の開催数は次のとおりで、それぞれ担当事項について審議した。

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1. 定例理事会 | 12回（うち書面審議 1回） |
| 2. 臨時理事会 | 11回（うち書面審議 10回） |
| 3. 監事会 | 2回 |
| 4. 諮問委員会 | |
| 米穀取引運営委員会 | 7回（うち書面審議 6回） |
| 5. 市場取引監視委員会 | 4回（うち書面審議 1回） |

4. 登記事項

平成30年6月13日

出資金変更 1億3,200万円（平成31年3月31日現在）

5. 会員に関する事項

(1) 一般会員の異動

区 分	平成30年3月末現在	加 入	脱 退	持分譲渡・譲受	平成31年3月末現在
農産物市場	45	2	0	1	47
農産物・ 飼料指数市場	9	0	0	—	9
水産物市場	8	0	0	—	8
砂糖市場	8	0	0	—	8
実 数	56	2	0	1	58

注) ()は会員、受託会員間の異動数

※ 3月末脱退者は反映せず

(2) 受託会員の異動

区 分	平成30年3月末現在	加 入	脱 退	持分譲渡・譲受	平成31年3月末現在
農産物市場	10	1	1	—	10
農産物・ 飼料指数市場	7	0	1	—	6
水産物市場	7	0	1	—	6
砂糖市場	6	0	1	—	5
実 数	10	1	1	—	10

注) ()は会員、受託会員間の異動数

1. 会員加入

30.10.12 SBIフューチャーズ(株) (農産物市場)

30.10.26 伊藤忠食糧(株) (農産物市場)

30.10.26 (株)SBI証券 (農産物市場)

2. 持分譲受けによる会員加入

30.10.1 (株)神明分割準備会社 (農産物市場)

3. 持分譲渡による会員脱退

30.10.1 (株)神明 (農産物市場)

4. 商号変更

30.10.1 (株)神明 (旧 (株)神明分割準備会社)

5. 会員脱退

30.5.31 (株)アルフィックス(農産物市場、指数市場、水産物市場、砂糖市場)

31.3.31 三井製糖(株)(砂糖市場)

決 算 報 告 書

1. 貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	<u>313,503,605</u>	流動負債	<u>271,242,860</u>
現金及び預金	288,300,845	仮受金	518,412
未収金	13,659,931	預り金	198,892,662
前払費用	1,444,889	納税引当金	7,768,127
仮払金	10,097,940	未払金	45,481,361
固定資産	<u>2,093,832,311</u>	前受収益	18,582,298
有形固定資産	<u>1,215,794,900</u>	固定負債	<u>1,308,766,115</u>
土地	313,746,064	信託借入金	952,000,000
建物	728,931,720	信認金	96,200,000
設備	117,786,576	建物特別引当金	134,566,115
什器備品	13,925,072	加入調整金	126,000,000
システム設備	41,405,468	負債の部合計	1,580,008,975
無形固定資産	<u>177,782,698</u>	純資産の部	
ソフトウェア等	177,782,698	会員出資金	<u>121,100,000</u>
投資その他の資産	<u>700,254,713</u>	会員加入金	<u>468,753,822</u>
所有有価証券	381,759,508	法定準備金	<u>1,237,913</u>
預け金	22,623,500	損失てん補準備金	1,237,913
所員貸付金	12,855,000	利益剰余金	<u>236,235,206</u>
信託預け金	283,016,705	別途積立金	5,418,294
		特別担保積立金	457,000,000
		繰越利益剰余金	△ 226,183,088
		(内当期利益)	(△ 43,080,488)
		純資産の部合計	827,326,941
資産の部合計	2,407,335,916	負債・純資産の部合計	2,407,335,916

2. 損益計算書

自平成30年4月1日
至平成31年3月31日

(単位：円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
役員諸給与	85,862,000	定額会費	2,227,500
福利厚生費	16,853,336	定率会費	14,861,170
支払手数料	2,440,000	受渡手数料	346,400
事務費	1,908,144	システム利用料	28,606,200
運営費	56,161,000	情報提供料	11,991,945
諸会費	546,466	賃貸収入	191,217,194
諸税公課	38,252,738	附帯収入	93,504,017
賃借料	10,134,525	地代収入	3,025,806
建物管理費	62,168,640	収入利子	3,409,582
修繕費	5,255,496	雑収入	5,702,924
寄付金	1,196,000	建物特別引当金戻入	5,255,496
先物システム料	112,355,315	固定資産売却益	144,016,860
広報戦略費	50,824,449		
減価償却費	84,035,845		
信託報酬等	6,380,767		
支払利息	5,889,549		
雑費	5,381,312		
役員退職金	1,600,000		
計	547,245,582	計	504,165,094
		当期損失金	43,080,488
合計	547,245,582	合計	547,245,582

以上のとおりであります。

令和元年5月

大阪堂島商品取引所

理事長	岡本安明
理事	鈴木勝夫
理事	藤見徳男
理事	岡地修一
理事	生田一
理事	佐藤広宣
理事	有馬誠吾
理事	青山秀世
理事	日下伸一
理事	正垣達雄
理事	厨秀俊
理事	仁科一彦

以上の事項を監査の結果、正確適法であることを確認します。

令和元年5月

監事	櫻井敏雄
監事	渡邊健一郎

3. 損失処理

(単位：円)

I 当期未処理損失金		<u>235,033,088</u>
前期繰越損失金	183,102,600	
当期損失金	43,080,488	
脱退会員持分返付金	8,850,000	
II 次期繰越損失金		<u>235,033,088</u>

参 考 資 料 （ 統 計 ）

1. 商品別出来高表

銘柄 月別	東京コメ	大阪コメ	新潟コシ	秋田こまち	小豆	とうもろこし	米国産大豆
平成30年4月	2,524 (-9,480)	3,658 (-3,749)	9,443 (-4,438)		358 (±0)	1,797 (+120)	239 (±0)
5月	2,668 (-8,319)	4,026 (-1,036)	8,801 (-3,277)		444 (-11)	1,896 (+206)	252 (+12)
6月	2,229 (-21,259)	3,580 (-5,264)	6,183 (-17,129)		395 (+1)	972 (-1,005)	251 (-12)
7月	2,309 (-10,355)	4,263 (-2,207)	5,946 (-11,835)		376 (+18)	756 (-1,032)	252 (+12)
8月	2,891 (-1,541)	3,694 (-952)	8,040 (-5,160)		412 (+18)	825 (-1,152)	275 (+12)
9月	2,280 (-133)	2,971 (+760)	6,321 (-259)		322 (-134)	648 (-1,140)	216 (-24)
10月	3,020 (+986)	2,184 (+251)	11,487 (+5,625)	1,204	162 (-214)	324 (-1,563)	108 (-143)
11月	4,569 (+2,434)	6 (-1,779)	21,892 (+16,853)	2,814	0 (-358)	0 (-1,790)	0 (-240)
12月	5,390 (+3,479)	0 (-2,012)	8,200 (+2,112)	2,599	0 (-364)	0 (-1,863)	0 (-245)
平成31年1月	2,860 (-224)	2 (-3,239)	22,471 (+13,448)	4,729	0 (-426)	0 (-1,690)	0 (-222)
2月	1,036 (-3,255)	1 (-4,286)	18,540 (+5,934)	1,582	0 (-340)	0 (-1,707)	0 (-227)
3月	911 (-3,842)	0 (-4,791)	19,587 (+5,886)	759	0 (-376)	0 (-1,884)	0 (-252)
合計	32,687 (-51,509)	24,385 (-28,304)	146,911 (+7,760)	13,687	2,469 (-2,186)	7,218 (-14,500)	1,593 (-1,329)

銘柄 月別	粗糖	冷凍えび	コーン75指数	合計	1日平均	立会日数
平成30年4月	240 (±0)	239 (±0)	240 (±0)	18,738 (-17,547)	937 (-877)	20 (±0)
5月	251 (+12)	251 (+12)	251 (+12)	18,840 (-12,389)	897 (-664)	21 (+1)
6月	252 (-12)	251 (-12)	252 (-12)	14,365 (-44,704)	684 (-2,001)	21 (-1)
7月	251 (+12)	251 (+12)	251 (+12)	14,655 (-25,363)	698 (-1,303)	21 (+1)
8月	276 (+12)	275 (+12)	276 (+12)	16,964 (-8,739)	738 (-430)	23 (+1)
9月	215 (-24)	215 (-24)	215 (-24)	13,403 (-1,002)	745 (+25)	18 (-2)
10月	108 (-144)	107 (-144)	108 (-144)	18,812 (+5,714)	855 (+231)	22 (+1)
11月	0 (-239)			29,281 (+17,217)	1,394 (+791)	21 (+1)
12月	0 (-246)			16,189 (+2,969)	852 (+222)	19 (-2)
平成31年1月	0 (-221)			30,062 (+11,713)	1,582 (+616)	19 (±0)
2月	0 (-228)			21,159 (-2,982)	1,114 (-157)	19 (±0)
3月	0 (-251)			21,257 (-5,253)	1,063 (-199)	20 (-1)
合計	1,593 (-1,329)	1,589 (-1,327)	1,593 (-1,329)	233,725 (-80,366)	958 (-324)	244 (-1)
今期の1日最高出来高 (平成31年1月8日)			2,962枚 (-1,627)	開所来の1日最高出来高 (平成14年6月17日)		218,101枚
今期の1日最低出来高 (平成30年12月17日)			255枚 (-195)	開所来の1日最低出来高 (昭和27年10月13日)		23枚

- 注) 1. 開所来の1日最低出来高については、旧大阪穀物取引所のもの。
 2. ()内の数字については、前年との比較。
 3. 秋田こまちは、平成30年10月22日取引開始
 4. 冷凍えび、コーン75指数は平成30年10月22日取引休止

2. 今期

銘柄	区分 比較	最高値段	最低値段	加重平均	一日最高出来高	一日最低出来高	出来高合計	総約定代金
		円	円	円	枚	枚	枚	円
東京 コメ	今期中	(30.4.2) 円 14,510	(30.8.27) 円 12,850	円 13,416	(31.1.8) 枚 622	(31.2.19) 枚 1	枚 32,687	円 87,703,262,000
	前期との比較	- 410	+ 10	- 169	- 1,374	- 61	- 51,509	- 141,062,422,000
大阪 コメ	今期中	(30.4.11) 円 15,310	(30.8.29) 円 13,720	円 14,703	(30.10.3) 枚 487	(30.10.16) 枚 0	枚 24,385	円 17,927,239,500
	前期との比較	- 190	+ 420	+ 567	- 327	- 62	- 28,304	- 19,313,395,500
新潟 コシ	今期中	(31.3.29) 円 19,450	(30.8.28) 円 15,000	円 16,312	(31.1.15) 枚 2,092	(30.6.22) 枚 59	枚 146,911	円 59,909,032,000
	前期との比較	+ 2,540	+ 1,250	+ 1,325	+ 317	- 156	+ 7,760	+ 7,772,979,500
秋田 こまち	今期中	(30.10.24) 円 15,090	(31.1.9) 円 14,300	円 14,562	(31.1.11) 枚 458	(31.3.8) 枚 22	枚 13,687	円 40,659,533,760
	前期との比較	-	-	-	-	-	-	-
小 豆	今期中	(30.4.2) 円 12,390	(30.4.2) 円 12,390	円 12,390	(30.5.1) 枚 86	(30.10.15) 枚 0	枚 2,469	円 1,223,636,400
	前期との比較	± 0	± 0	± 0	- 30	- 6	- 2,186	- 1,083,381,600
とうもろ こし	今期中	(30.5.1) 円 24,000	(30.4.2) 円 21,000	円 22,679	(30.5.1) 枚 96	(30.10.15) 枚 0	枚 7,218	円 8,184,700,000
	前期との比較	- 4,250	± 0	- 568	+ 2	- 72	- 14,500	- 17,058,837,500
米 国産 大豆	今期中	(30.4.25) 円 49,000	(30.8.29) 円 46,000	円 47,847	(30.4.2) 枚 12	(30.10.15) 枚 0	枚 1,593	円 762,200,000
	前期との比較	- 2,000	+ 6,490	+ 2,573	± 0	- 6	- 1,329	- 560,694,100
粗 糖	今期中	(30.4.2) 円 42,110	(30.4.2) 円 42,110	円 42,110	(30.4.2) 枚 12	(30.10.15) 枚 0	枚 1,593	円 670,812,300
	前期との比較	± 0	± 0	± 0	± 0	- 6	- 1,329	- 559,641,900
冷 凍 え び	今期中	(30.4.2) 円 1,181	(30.4.2) 円 1,181	円 1,181	(30.4.2) 枚 12	(30.4.10) 枚 11	枚 1,589	円 112,596,540
	前期との比較	± 0.0	± 0	± 0.0	± 0	+ 5	- 1,327	- 94,031,200
コー ン 7 5 指 数	今期中	(30.5.10) 円 171.2	(30.9.10) 円 151.5	円 169.6	(30.4.2) 枚 12	(30.5.10) 枚 11	枚 1,593	円 2,701,405,000
	前期との比較	+ 1.6	+ 5.8	+ 0.0	± 0	+ 5	- 1,329	- 2,253,439,000
合 計	今期中	円	円	円	(31.1.8) 枚 2,962	(30.12.17) 枚 255	枚 233,725	円 219,854,417,500
	前期との比較	-	-	-	- 1,627	- 195	- 80,366	- 133,553,329,560

の 概 要

第90期

受渡高合計	内 合意早受渡し	立会日数	一日平均出来高	最高取組高	最低取組高	一日平均取組高	期末(3月末日) の取組残高
枚 114	枚 100	日 244	枚 134	(30.6.21) 枚 2,287	(31.3.26) 枚 1,063	枚 1,594	枚 1,105
+ 10	+ 14	- 1	- 210	- 3,488	- 1,218	- 1,944	- 1,176
枚 330	枚 38	日 230	枚 106	(30.6.15) 枚 2,906	(31.1.10) 枚 0	枚 1,292	枚 0
+ 304	+ 20	- 15	- 109	- 2,695	- 2,250	- 2,100	- 2,250
枚 1,288	枚 497	日 244	枚 602	(31.1.23) 枚 2,637	(30.11.2) 枚 1,016	枚 1,766	枚 2,175
+ 589	+ 321	- 1	+ 34	- 2,508	- 598	- 1,342	+ 247
枚 0	枚 0	日 106	枚 129	(30.12.10) 枚 254	(30.10.23) 枚 88	枚 156	枚 139
-	-	-	-	-	-	-	-
枚 0	枚 -	日 244	枚 10	(30.4.2) 枚 50	(30.6.6) 枚 0	枚 6	枚 0
± 0	-	- 1	- 9	± 0	- 50	- 44	- 50
枚 0	枚 -	日 244	枚 30	(30.4.2) 枚 50	(30.6.6) 枚 0	枚 6	枚 0
± 0	-	- 1	- 59	± 0	- 50	- 44	- 50
枚 0	枚 -	日 244	枚 7	(30.4.2) 枚 0	(30.4.2) 枚 0	枚 0	枚 0
± 0	-	- 1	- 5	± 0	± 0	± 0	± 0
枚 0	枚 -	日 244	枚 7	(30.4.2) 枚 0	(30.4.2) 枚 0	枚 0	枚 0
± 0	-	- 1	- 5	± 0	± 0	± 0	± 0
枚 0	枚 -	日 133	枚 12	(30.4.2) 枚 0	(30.4.2) 枚 0	枚 0	枚 0
± 0	-	- 112	± 0	± 0	± 0	± 0	± 0
		日 133	枚 12	(30.4.2) 枚 0	(30.4.2) 枚 0	枚 0	枚 0
		- 112	± 0	± 0	± 0	± 0	± 0
枚 1,732	枚 635	日 244	枚 1,038	(30.4.19) 枚 6,884	(30.11.13) 枚 2,449	枚 4,820	枚 3,419
+ 903	+ 355	- 1	- 244	- 9,492	- 4,011	- 5,317	- 3,140

3. 会員別・売買高及び受渡高表

○ 受託会員 △ 一般会員

(単位：枚)

順位	市場				会員名	売 買 高					受 渡 高			
	農	砂	水	指		農産物市場	砂糖市場	水産物市場	農産物・飼料 指数市場	計	農産物	砂糖	水産物	計
1	○	○	○	○	岡 安 商 事	270,389				270,389	3,225			3,225
2	○		○	○	コ ム テ ッ ク ス	102,265				102,265				
3	△	△	△	△	大 阪 堂 島 商 取 代 行	37,506	3,186	3,178	3,186	47,056				
4	○	○	○	○	豊 商 事	39,377				39,377	231			231
5	○				サ ン ワ ー ド 貿 易	8,088				8,088				
6	○	○	○	○	岡 地	232				232	8			8
7	○	○	○	○	第 一 商 品	31				31				
8	○				日 産 証 券	12				12				
9										0				
10										0				
11										0				
12										0				
合 計						457,900	3,186	3,178	3,186	467,450	3,464			3,464

会 員 名 簿

平成31年3月31日現在

凡例

○：受託会員（自己の計算による取引及び受託業務を行うことができる会員をいう。）

△：一般会員（自己の計算による取引のみを行うことができる会員をいう。）

農：農産物市場

砂：砂糖市場

水：水産物市場

指：農産物・飼料指数市場

受託会員

氏名・商号等	代表者 本所に対する代表者	所在地	電話	ファックス	農	水	砂	指
岡地株式会社	代表取締役社長 岡地 和道 専務取締役 岡地 修一	460-0008 名古屋市中区栄3丁目 7番29号 (大阪支店)	052-261-3311	052-243-6745	○	○	○	○
		541-0056 大阪市中央区久太郎町 4丁目2番15号	06-6282-3911	06-6244-1362				
岡藤商事株式会社	代表取締役社長 杉本 卓士	104-0033 東京都中央区新川2丁目 12番16号	03-3553-0711	03-5566-7797	○	○	○	○
岡安商事株式会社	代表取締役会長 岡本 安明 取締役最高顧問 岡本 昭	541-0041 大阪市中央区北浜2丁目 3番8号	06-6222-0001	06-6203-7700	○	○	○	○
株式会社コムテックス	代表取締役社長 有馬 誠吾 代表取締役相談役 桜井 明	550-0011 大阪市西区阿波座1丁目 10番14号 大阪堂島商取ビル	06-6543-2118	06-6543-8629	○	○		○
サンワード貿易株式会社	代表取締役社長 依田 年晃	162-0822 東京都新宿区下宮比町 3番2号 飯田橋スクエアビル (大阪支店)	03-3260-0211	03-3266-9082	○			
		530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目4番16号 アケ堂島NBF7-西棟14F	06-6345-8011	06-6345-8255				
第一商品株式会社	代表取締役社長 正垣 達雄 取締役副会長 落岩 邦俊	150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル (大阪支店)	03-3462-8011	03-3476-0819	○	○	○	○
		541-0056 大阪市中央区久太郎町 3丁目5番13号 又一ビル	06-6282-9411	06-6282-9435				

氏名・商号等	代 表 者 本所に対する代表者	所在地	電話	ファックス	農	水	砂	指
日産証券株式会社	代表取締役会長 二 家 勝 明	103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1丁目38番11号	03-5623-0023	03-5623-4388	○			
北辰物産株式会社	代表取締役社長 靱 持 宏 昭	103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 1丁目9番2号	03-3668-8111	03-3668-8118	○			
豊商事株式会社	代表取締役社長 安 成 政 文 代表取締役会長 多々良 實 夫	103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1丁目16番12号 (大阪支店) 541-0056 大阪市中央区久太郎町2丁目 5番28号	03-3667-5211 06-6245-8000	03-3667-8219 06-6245-9367	○	○	○	○
SBIフューチャーズ 株式会社	代表取締役社長 チャン・ソク・チョン	106-0032 東京都港区六本木3丁目 1番1号	03-4563-3888		○			

受託会員計：10名

10 6 5 6

一般会員

氏名・商号等	代 表 者 本所に対する代表者	所在地	電話	ファックス	農	水	砂	指
株式会社アステム	代表取締役会長 阿 竹 康 之 代表取締役社長 北 川 具 宏	540-6591 大阪市中央区大手前1丁目 7番31号 OMMビル8F	06-4790-3401	06-4790-3411	△	△		△
株式会社イクタツ	代表取締役 榎 本 隆 治	132-0025 東京都江戸川区松江3丁目 16番6号	03-3651-5040	03-5607-1919	△			
伊丹産業株式会社	代表取締役社長 北 嶋 一 郎	664-0851 兵庫県伊丹市中央5丁目 5番10号	072-783-0001	072-778-7070	△			
伊藤忠食糧株式会社	代表取締役社長 近 藤 秀 衛 専務取締役 金 子 統	107-0062 東京都港区南青山一丁目 1番1号	03-5771-6371	03-5414-5367	△			
株式会社インタートレー ドヘルスケア	代表取締役 内 藤 敏 裕	104-0033 東京都中央区新川1丁目17番 21号 茅場町ファーストビル3F	03-4540-3140	03-4540-3141	△			
上中米穀店	上 中 勝 弘	599-8273 大阪府堺市中区深井清水町 3718	072-277-6363		△			
SWAトレーディング 株式会社	代表取締役 太 田 浩 之	162-0822 東京都新宿区下宮比町 3番2号 飯田橋スクエアビル	03-5261-7926	03-3266-9082	△			
株式会社エム・エフ・ジイ	代表取締役 増 田 太	591-8023 大阪府堺市北区中百舌鳥町 6丁816番地	072-252-0183	072-252-1992	△			
大阪堂島商取代行 株式会社	代表取締役社長 岡 本 安 明	550-0011 大阪市西区阿波座1丁目 10番14号 大阪堂島商取ビル	06-6531-7934	06-6541-9343	△	△	△	△
大西商事株式会社	代表取締役会長 内 富 健 太 郎	750-0006 山口県下関市南部町22番14号 (大阪支店) 550-0011 大阪市西区阿波座1丁目 10番14号 大阪堂島商取ビル	083-231-5155 06-6533-1861	083-222-5164 06-6533-1865	△		△	
岡和雄	岡 和 雄	553-0001 大阪市福島区海老江4丁目 3番1号	06-6451-1570	06-6451-1570	△			

乙部米穀株式会社	代表取締役 松 葉 忠 良	541-0055 大阪市中央区船場中央3丁目 2番8号 B156東	06-4704-0290	06-4704-0293	△				
株式会社OTC	代表取締役 藤 田 誠 吾	650-0034 神戸市中央区京町67番地 KANJUビル	078-391-8901	078-331-0445	△				
株式会社 カーギルジャパン	代表取締役 佐々木 弘 人	100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目 1番1号 国際ビル4F	03-3285-0800	03-3211-8934	△				
株式会社かね善	代表取締役 岡 田 善 史	537-0013 大阪市東成区大今里南 1丁目1番26号	06-6975-4141	06-6975-4001	△				
カネツ商事株式会社	代表取締役社長 塩 飽 誠	103-0005 東京都中央区日本橋久松町12 番8号 日本橋久松町東誠ビル (関西支店) 540-0031 大阪市中央区北浜東1番7号	03-3662-0111 06-6942-8686	03-3662-3057 06-6942-8735					△
株式会社カネマス商店	代表取締役 平 野 太 一	577-0842 東大阪市足代南1丁目 16番8号	06-6722-0141	06-6722-3751	△				
岸和田食糧株式会社	代表取締役 櫻 井 敏 雄	596-0052 岸和田市並松町9番2号	072-423-4367	072-423-4367	△				
木徳神糧株式会社	代表取締役社長 平 山 惇	101-0052 東京都千代田区神田小川町 2丁目8番 木徳神糧小川町ビル	03-3233-5121	03-3233-5131	△				
近畿食糧株式会社	代表取締役 水 井 時 也	635-0082 奈良県大和高田市本郷町 11番14号	0745-52-3484	0745-53-6066					△
株式会社 クリスタルライス	代表取締役社長 小 野 茂	103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 15番15号	03-4334-2175	03-4334-2178	△				
KOYO証券株式会社	代表取締役社長 鐘ヶ江 輝 彦 代表取締役副会長 村 上 久 広	103-0004 東京都中央区東日本橋2丁目 13番2号 光陽東日本橋ビル (大阪支店) 530-0005 大阪市北区中之島3丁目 2番18号 住友中之島ビル4F	03-5825-3731 06-6441-3500	03-5825-6388 06-6441-4170	△				
株式会社米安	取締役社長 浅 野 嘉 一	660-0871 兵庫県尼崎市建家町40番地	06-6411-6071	06-6411-4758	△				△
サクセス・コンサルテ ィング株式会社	代表取締役 鶴 篤 志	101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2丁目1番34号	03-6367-2611	06-6367-2610	△				
株式会社四宮商店	代表取締役 四 宮 太 一	652-0816 神戸市兵庫区永沢町3丁目 1番11号	078-512-1161	078-512-1167	△				

柴田米穀店	柴田 富吉	599-8241 大阪府堺市中区福田1034-6	072-236-1457	072-236-1461	△			
株式会社神明	代表取締役社長 藤尾 益雄	103-0016 東京都中央区日本橋小網町 16番15号 (神戸支店) 650-0023 神戸市中央区栄町通6丁目 1番21号	03-3666-2040 078-371-4701	03-3666-2041 078-371-4741	△			
杉原産業株式会社	代表取締役社長 杉原 由高 取締役会長 杉原 康夫	658-0033 神戸市東灘区向洋町西 6丁目7番地	078-846-3003	078-846-3006	△			△
石栄株式会社	代表取締役 大石 克彦	542-0081 大阪市中央区南船場2丁目 5番24号	06-6261-8250	06-6261-5300	△			
全国米穀販売事業 共済協同組合	理事長 木村 良	103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 15番15号	03-4334-2100	03-4334-2107	△			
千田みずほ株式会社	代表取締役 千田 法久	240-0064 神奈川県横浜市保土ヶ谷区 峰岡町1丁目21番地	045-335-2613	045-331-5245	△			
大日本明治製糖株式会社	代表取締役社長 井崎 俊彦	103-0027 東京都中央区日本橋1丁目 5番3号 日本橋西川ビル (関西営業所) 530-0001 大阪市北区梅田1丁目1番 3-600号 大阪駅前第3ビル	03-3271-0101 06-6442-3366	03-3281-0339 06-6442-3377			△	
大和雑穀株式会社	代表取締役社長 泉 剛史 代表取締役常務 泉 信吾	080-2463 北海道帯広市西二十三条北 1丁目3番9号 (大阪支店) 536-0023 大阪市城東区東中浜7丁目 8番28号	0155-37-4331 06-6961-3731	0155-37-4337 06-6961-3174	△			△
高鍋商事株式会社	代表取締役会長 高鍋 弘	553-0006 大阪市福島区吉野2丁目 8番4号	06-6451-7616	06-6451-7319	△			△
株式会社田島屋	代表取締役社長 田嶋 光夫	300-0811 茨城県土浦市上高津717番地	029-822-0001	029-823-8108	△			
津田物産株式会社	代表取締役社長 奥 吉治	538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目 7番3号	06-6961-5751	06-6968-0079	△			
中井産業株式会社	代表取締役 中井 敏博	543-0027 大阪市天王寺区筆ヶ崎町 2番14号	06-6771-2212	06-6779-4019	△			△

日本コメ市場株式会社	代表取締役社長 藤尾 益也	103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 15番15号	03-4334-2170	03-4334-2177	△				
日本甜菜製糖株式会社	取締役会長 中村 憲治 取締役社長 惠本 司	108-0073 東京都港区三田3丁目 12番14号 ニッテン三田ビル	03-6414-5533	03-6414-3984				△	
公益社団法人 日本べんとう振興協会	代表理事・会長 石原 葵	103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 15番15号	03-5643-5611	03-5643-5612	△				
日本ユニコム株式会社	代表取締役社長 青山 秀世	103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1丁目38番11号	03-5623-5111	03-3669-6300	△	△	△	△	
株式会社平尾食糧	代表取締役 平尾 仁彦	543-0052 大阪市天王寺区大道2丁目 11番17号	06-6771-1565	06-6771-0868	△				
株式会社 フジオフードシステム	代表取締役社長 藤尾 政弘	530-0046 大阪市北区菅原町2番16号 FUJIOBLDG.	06-6360-0301	06-6360-0305	△				
平和農産株式会社	代表取締役社長 角田 光隆	650-0023 神戸市中央区栄町通1丁目 1番8号	078-331-5556	078-331-6331	△				
株式会社増田商店	代表取締役社長 増田 重樹	652-0833 神戸市兵庫区島上町2丁目 1番26号	078-681-5681	078-651-5079	△				
三井製糖株式会社	代表取締役社長 雑賀 大介	103-8423 東京都中央区日本橋箱崎町36 番2号 Daiwaパーク12F (大阪支社) 542-0081 大阪市中央区南船場2丁目 8番7号 三井製糖ビル	03-3663-3112	03-3664-6778				△	
湊商事株式会社	取締役 湊 喜弘	650-0035 神戸市中央区浪花町59番地 神戸朝日ビル (大阪支店) 552-0013 大阪市港区福崎1丁目3番17号	078-321-3701	078-331-6734	△				
株式会社むらせ	代表取締役 村瀬 賢正	103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 2丁目4番3号	03-3249-2671	03-3249-2676	△				
株式会社 明治フードマテリア	代表取締役社長 姫野 真司 大阪支店長 今泉 俊英	104-0031 東京都中央区京橋2丁目 4番16号 明治製菓ビル3F (大阪支店) 530-0001 大阪市北区梅田1丁目8番 17号 大阪第一生命ビル4F	03-3273-0360	03-3273-0290				△	
			06-6343-9120	06-6343-9122					

株式会社山三商会	代表取締役 櫻井 映子	550-0011 大阪市西区阿波座1丁目 10番14号	06-6533-0252	06-6533-1566	△			
株式会社ヤマタネ	代表取締役社長 山崎 元裕	135-8501 東京都江東区越中島1丁目 2番21号 ヤマタネビル	03-3820-1111	03-3820-9277	△			
リョーコクシヨウジ 株式会社	代表取締役社長 佐々木 優輔	733-0833 広島市西区商工センター 5丁目7番5号	082-277-6455	082-278-0381	△			
株式会社SBI証券	代表取締役社長 高村 正人	106-6019 東京都港区六本木一丁目 6番1号	03-5562-7210		△			
株式会社新和流通	代表取締役 鶴山 益濟	550-0013 大阪市西区新町1丁目 22番22号-406号	06-6539-6987	06-6539-6989		△		
有限会社大松水産	代表取締役 松本 陽一	596-0015 大阪府岸和田市地藏浜町 11番地1	0724-39-2118			△		
日本ポート産業株式会社	代表取締役社長 平松 直典	658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町16番地	078-412-5541 (営業部)	078-451-8366		△		
株式会社松岡	代表取締役 松岡 隆雄	750-8512 山口県下関市東大和町1丁目 10番12号	083-267-5566	083-267-5286		△		
マリンフーズ株式会社	代表取締役 蓑内 眞三	141-6011 東京都品川区大崎2丁目 1番1号 ThinkPark Tower	03-3452-8920	03-3452-8746		△		

一般会員計：58名

47 8 8 9

〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目10番14号

大阪堂島商品取引所

電話 06 (6531) 7931 (総務部) 代表

06 (6531) 7932 (業務部)

東京支所

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町15番15号

電話 03 (4334) 2185 (営業企画部)

理事一名の選任について

本所の経営基盤を強化するため、新たに以下の者を選任する

1. 氏名

しげみつ たつお
重光 達雄（昭和33年1月24日生）

2. 略歴

平成18年 6月 ユニコムグループホールディングス 代表取締役社長就任
平成18年10月 日本ユニコム 代表取締役社長就任
平成20年 7月 SBI リクイディティ・マーケット 代表取締役社長就任
平成26年 7月 FX クリアリング信託 取締役就任
平成27年 6月 SBI ホールディングス 取締役就任
平成28年 6月 SBI ホールディングス 取締役 執行役員常務就任
平成29年12月 SBI リクイディティ・マーケット 副会長就任
平成30年 2月 BYFX HK,.Co.,Ltd 取締役就任（現任）
平成30年 6月 FX クリアリング信託 代表取締役会長就任（現任）
SBI ホールディングス 顧問就任（現任）
平成30年10月 SBI フューチャーズ 取締役会長就任（現任）

以上